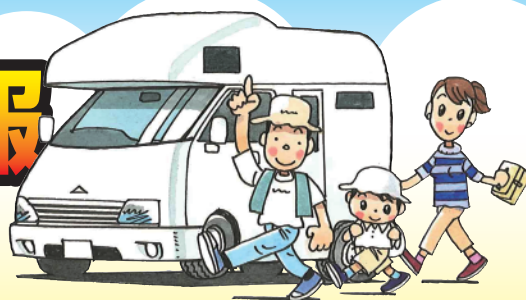


お出かけ前に
タイヤ点検を

キャンピングカー タイヤ点検注意報

キャンピングカーでお出かけの時は、車両重量プラス荷物でタイヤに大きな負担をかけがちです。簡単な点検と安全運転で夏のレジャーを快適に楽しみましょう。

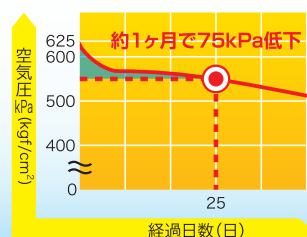


タイヤの空気圧は大丈夫ですか？

タイヤの空気圧は徐々に低下します。出発前には、必ず空気圧チェックを行いましょう。タイヤの空気圧が低い状態で走行すると、異常発熱によりタイヤが損傷し、車両事故に結びつく恐れがあります。特に路面温度が上昇する夏場には、注意が必要です。さらに、燃費にも悪影響を与えます。

小形トラック用タイヤの空気圧低下状況

タイヤサイズ：6.50R16
初期圧：625kPa



損傷したタイヤの例



Point

走行前のタイヤが冷えている状態で、車両指定空気圧～+70kPa※の範囲で空気圧を調整してください。

※小形トラック用
タイヤの場合

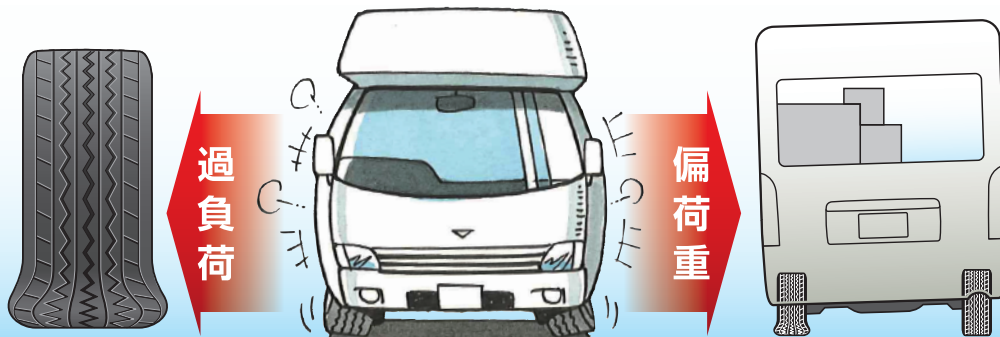
荷物を積み過ぎていませんか？

車検証の車両総重量には、タンク内の水やキャンプグッズ(食料等)の重量は含まれていません。荷物の積み過ぎで、車両総重量を超えていませんか？車両総重量を超えた状態で走行すると、タイヤが低空気圧の状態と同じような走行条件となり、タイヤ損傷が発生する恐れがあります。



Point

荷物の積み過ぎや偏った積み方に注意しましょう。特に、後輪は、負荷がかかり易く、左右アンバランスになりやすいので荷物はバランス良く積んでください。



タイヤに外傷や変形はありませんか？

Point

タイヤに亀裂(クラック)や変形がないか、釘、金属片、ガラス等が刺さっていないかチェックしてください。

走行中に異常な音や振動を感じたら、速やかに安全な場所に停車して、車両及びタイヤの点検を行ってください。また、外観上、異常が無くても出来るだけ低速で移動し、早めにタイヤ販売店等に相談してください。



亀裂、釘踏み等



変形

溝が残っていても

次のような使用条件ではタイヤの疲労が進んでおり、早めの交換が必要な場合があります。

荷物の
積み過ぎ

空気圧
不足

長期使用

タイヤ販売店で
点検しましょう

上記のイラストは全てイメージです。